

【情報モラル推進校としての実践】

実践① SNS東京ノートの活用



低学年用



中学年用



高学年用

「自分と相手とのちがい」を考え、同じ言葉でも受け手によって「悪口」に聞こえてしまうことがあるという学習をしました。高学年では、実際に SNS を使用している実態を踏まえ、SNS 上で「写真を送るように言われたら」どうすればよいかなどを考えました。

実践②

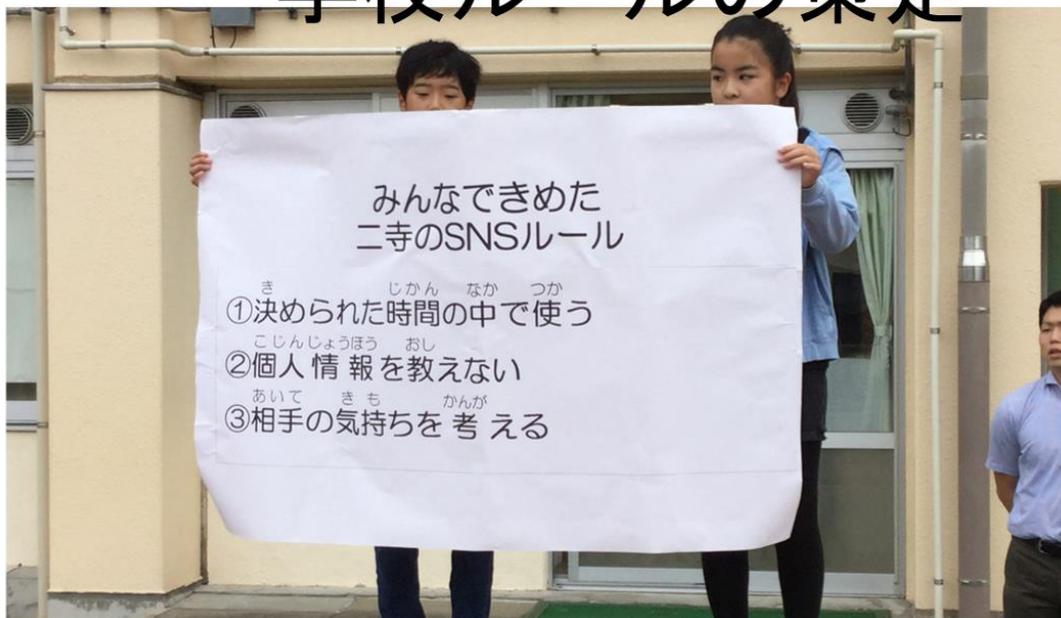
墨田川高校 生徒による「スマホミーティング」



墨田川高校の生徒から SNS に関する注意事項を聞いたり、 SNS 東京ノートを活用したグループワークを行ったりしました。

高校生から実際に話を聞くことで情報モラルの重要性や必要性を理解することができました。

実践③ SNS学級ルール 学校ルールの策定



全学年・全学級で「SNS 学級ルール」をつくりました。また、代表委員会の児童が中心となり、各学級のルールを基に SNS 学校ルール「二寺の SNS ルール」もつくりました。

実践④ SNSイラスト・キャラクター 総選挙の実施



全校にキャラクター・イラストを募集しました。応募総数は64点にのぼりました。児童だけでなく、学校公開日には保護者や地域の方々にも投票をお願いしました。その結果、総投票数は285票となりました。

実践⑤ SNS啓発グッズ作成



最優秀作品

缶バッジのデザインに採用



クリアファイルのデザインに採用

選挙で選ばれた SNS キャラクターを啓発グッズのデザインとして採用しました。缶バッジやクリアファイルのデザインに取り入れ、全児童・地域に配布しました。

児童は書かれた学校ルールを何度も読み返し、意識を強めました。



低学年は NTT docomo、高学年は LINE の方に講師をしていただき、携帯電話・SNS の利便性と危険性について学習しました。

たくさんの保護者の方にも参加していただくことができました。